

連載

目指せ！ 「ダイバーシティー」

男女共同参画委員会から

「男女共同参画委員会では、「人材多様性の促進」と「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」を目指し、1)実際に各企業・大学・研究所で行われている男女共同参画の取り組みを現場の声と共に紹介する「うちの取組」の Web 掲載、2)進路決定支援を目的とした「学生のためのキャリアデザインセミナー」、3)女性会員の情報交換の場を提供する「女性技術者ネットワーク」、など様々な活動を行っております。これらの活動内容を広く会員の皆様に知って頂くことでより一層の推進を目指したいとの思いから、化工誌に活動内容の紹介をさせて頂いています。今月号は今秋に岡山大学で行われた秋季大会での「学生のためのキャリアデザインセミナー」報告を掲載させていただきます。バックナンバーはホームページよりご覧いただけます。」

2013 年 第 45 回秋季大会 男女共同参画委員会企画「学生のためのキャリアデザインセミナー」報告

秋季大会恒例となりました男女共同参画委員会企画のキャリアデザインセミナーを、大会初日の 2013 年 9 月 16 日（月）17 時より岡山大学津島キャンパス教養教育棟 C22 室にて開催しました。

この日は大型の台風 18 号の上陸によって、朝から交通機関の欠航・遅延が生じ、関東方面の方が岡山入りできないという事態となってしまいました。本セミナーでもご講演を予定されていた三菱化学(株)人材・組織開発部の竹内昌子様と月島機械(株)開発本部研究開発部の本間友基様が岡山にいらっしゃることができず、非常に残念ながら講演キャンセルということになりました。そのため、本セミナーでは先輩からのお話として、近畿工業(株)開発部の竹元奈都記様と凸版印刷(株)事業開発・研究本部の平井瑤子様のお二人にご講演いただきました。

まず近畿工業(株)開発部の竹元様からは、会社での開発業務の内容とその取り組み方、育児との両立に関して、軽快な関西弁でお話をいただきました。近畿工業(株)は、砕（くだく）剪（きる）選（えらぶ）技術を武器に、破碎機などの環境・リサイクル機械の設計・製造を行う機械系のメーカーですが、近年はお客様のニーズに合わせてプラントシステムの開発も行うようになり、化学工学系卒の竹元様が技術系女性第一号として採用されたとのことでした。化学工学系の採用数も増加傾向で、開発業務においても化学工学の知識が非常に役に立っているそうです。プライベートでは二人のお子さんのお母さんであり、同居のご両親のご協力を得ながら仕事を継続されてこられました。お姑さんが体調を崩された時期は毎日が戦争のようだったと振り返っておられました。仕事と育児を両立するために「無理をしない、でも努力は絶やさない」「肩肘張らずに、男性と女性でそれぞれ得意分野を活かした働き方を」「まず健康第一」「周囲の体制作り」「仕事も育児も一人ではできない、子供の協力にも感謝を」「職場との日頃からのコミュニケーションを」「誰にも負けないスキル・知識を身につける」等の貴重なアドバイスをいただきました。仕事や育児の困難も明るく前向きに乗り越えられ、会社の社は「流汗悟道：自らの努力と創造性で生きる道を拓く」と企業理念「ハッピーカンパニー：わが社にかかわるすべての人々の幸せを目指す」をまさに体現されておられた竹元様のお話に大変共感致しました。



近畿工業(株)開発部の竹元奈都記様



凸版印刷(株)製造・技術・研究本部の平井瑤子様

凸版印刷(株)入社 3 年目の平井様からは、会社紹介に続いて会社志望動機や研究開発業務のやりがいと実情、ワークライフバランスなどについてお話いただきました。凸版印刷(株)は働きやすい会社ランキングの上位に名の挙がる人気企業で、「事業領域が広いので、色々なことに挑戦できる」「毎年異動希望を申請する機会がある(チャレンジングジョブ制度)」が志望動機に非常にマッチしていたことが入社を決め手になったそうです。入社後に配属された新商品開発業務は、自らが希望した部署であり、「自分の開発した商品を世の中に出したい!」という望みを実現できる華やかな仕事である反面、社内外の多くの人を巻き込んで商品を作り上げていくために、「納期厳守(時間の流れが速い)」「問題が発生した場合、素早い対応および解決が必要」「価値観の異なる海外企業との英語でのやりとり」などにおいての苦労話もしていただきました。そんな気の張った一日の終わりや休日には、スイーツや買い物・コンサート・海外旅行とアクティブに活動され、上手にワークライフバランスを取りつつ、仕事にやりがいを持って前向きに取り組まれている平井様の姿は、聴衆の学生さんにも大いに刺激になったと思われます。

続いて行われた交流会は、講演時間が短くなったこともあり、講演者と参加者がゆっくりとお話をする時間を取ることができました。今回の企画では、台風の影響で参加者が 19 名と少なくなりましたが、男性の方に多く参加していただき(79%)、8 割以上の方から好意的なアンケート回答を頂きました。



男女共同参画委員会では、「学生のためのキャリアデザインセミナー」を年2回（秋季大会時と11月に東京化学工学会本部にて）企画しております。今後も、化学工学系の学生支援のため、企業の人事や先輩から、実際に仕事をしていく上でためになる情報や話題を提供して頂く予定ですので、是非ご参加下さい。また、化学工学会では、化学工学分野で働く女性技術者や研究者を対象とした「化学工学会女性賞」を一昨年度より創設しました。春の年会時に受賞講演を開催しますので、こちらも多数のご来場をお待ちしております。

最後になりましたが、事前手配や当日お手伝い下さった先生・学生・大会実行委員会の方々、学生の参加を奨励くださった先生方のご協力に心より感謝致します。

追記：保育サービス利用顛末記

第45回秋季大会では、大会参加者向けの保育サービス（生後二週間から小学生児童を対象）を実施しました。その利用顛末記をご報告致します。

私にとっては産後復帰して初めての出張での学会で、大会時に10ヶ月の娘を連れての参加となりました。私たち夫婦は両親がともに遠方に住んでおり、保育サービスは非常にありがたい支援制度です。保育サービスがあるからと、産前と同じ感覚で発表申し込みをして、座長も引き受けてしまいました。いざ準備を始めたときに、「これは大変だ」ということをようやく認識しました。まずは、つくばから岡山までの移動。自分の荷物に加えて、娘のおむつや着替え、ぐずり対策のおもちゃなど、荷物はいつもの倍以上。娘の生活時間を考えて、ホテルの場所、移動手段や移動時間を決めるなど考えることがいっぱい、発表の準備はギリギリになってしまいました。幸い、今回の学会は連休にかかっていたこともあり、行きの移動は旦那さんにも一緒に来てもらうことができたので、それほど苦労はありませんでした。娘も初めての新幹線が嬉しかったのか、覚えてたのつかまり立ちをして、はしゃいでいました。

今回は、保育業者の都合で保育場所が岡山駅前となったため、会場入り前に保育園へ。初めての場所で、人見知りのある娘は大泣きするかと思いましたが、とても感じのよい保育士さんに抱っこされて、あっさりとお別れできました。保育園とは事前に電話でお話しましたが、一時保育に慣れているようで対応もとても良く、安心して預けることができました。保育中は少し泣いたりもしたようですが、年上のお兄ちゃん・お姉ちゃんにたくさん遊んでもらって、楽しい時間を過ごしたようです。

私のほうも無事に発表と座長の任務を終え、岡山駅まで戻って娘のお迎えに。委員会のセミナーがあるため、娘連れで会場まで戻って一緒に参加しました。学会に子供がいるのは非常識と捉える方もいらっしゃるかもしれませんが、そうしないと学会に参加できない人もいるとご理解いただければ幸いです。帰りは二人きりで大きな荷物を抱えての移動で大変ではありましたが、久しぶりの学会で研究や育児の話がたくさんでき、参加して良かったと思えました。娘も大変だったかと思いますが、帰ってから伝い歩きをマスターするなど、良い刺激を受けたのではないかと思います。

今回、保育サービスの利用にあたって、私は学会でのママ友・パパ友を作ることを楽しみにしていました。残念ながら利用者は少なく、お一人としかお話できませんでしたが、今後も保育サービスは実施していきますので、ぜひ皆様のご利用をお待ちしております。次回は利用料金を無料にする予定です。

((独) 産業技術総合研究所 環境化学技術研究部門
吉宗美紀)